

令和4年度後期 三大学単位互換科目一覧

※自身の所属大学の開講科目を履修する場合は、通常の履修登録手続きを行ってください。

※各科目名をクリックしてシラバスを確認してください。

①開講大学	富山大学		
②授業科目名称	対人保健学[シラバス]		
③科目区分 ・教養教育・共通教育 ・学部専門科目(開講学部)	専門教育科目(医学部医学科)		
④単位数	1		
⑤授業担当教員	関根 道和、立瀬 剛志、山田 正明		
⑥開講学期・曜日・時限・スケジュール	後学期(12月23日～1月27日) 金曜3-4限(13:00-16:15) 12月23日 1月6日、20日、27日 ※2月13日(月)2限(10:30-12:00)に 試験を実施		
⑦授業実施方法 (遠隔授業の方式 等)	リアルタイム配信		
⑧受入人数	10名程度まで		
備考 (履修上の注意 等)	筆記試験により、評価を行う。(指定の日時に各自の所属大学において受験する。)		

授業科目名(英文名) / Course title	対人保健学 / Epidemiology and Population Health				
担当教員(所属) / Instructor	関根 道和(医学部医学科), 立瀬 剛志(医学部医学科), 山田 正明(医学部医学科)				
授業科目区分 / Category					
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域課題解決科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2022年度 / Academic Year 後期 / Fall 他	対象所属 / Eligible Faculty	医学部医学科 / School of Medicine Department of Medicine		
時間割コード / Registration Code	155027	対象学年 / Eligible grade	3年	単位数 / Credits	1.0単位
ナンバリングコード / Numbering Code	1M1-87063-0300				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL	https://lms.u-toyama.ac.jp/enrol/index.php?id=2022_155027				
各種教育プログラム1 / Various educational programs1	DS・情報科目				
各種教育プログラム2 / Various educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various educational programs5					
SDGsとの関連 / Related SDGs	1 : 貧困をなくそう 3 : すべての人に健康と福祉を 4 : 質の高い教育をみんなに 5 : ジェンダー平等を実現しよう 8 : 働きがいも経済成長も 10 : 人や国の不平等をなくそう 11 : 住み続けられるまちづくりを				
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日 2021/02/01				
対面授業として実施します。ただし、大学から遠隔授業実施の指示がでている場合は、遠隔授業として実施します。					
疫学や予防医学から保健医療制度までの広い分野であるが、日々の臨床現場での対応にも直結した重要な分野であり、しっかりと勉強していただきたい。毎回小テストを実施するので復習しておくこと。					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
モデルコアカリキュラムにおける「B-1-3) 根拠に基づいた医療<EBM>」と「B-1-4) 疫学と予防医学」を学修する。3名の教員全員が疫学について、研究や学会活動、行政委員活動を行っている。また、自身の疫学・予防医学的研究や健康政策に関する自治体の事業策定の経験を生かした教育を行う。健康を個人レベル、臓器レベルで診るだけでなく、集団や社会といった大きな視点から診る力を養っていただきたい。					
達成目標 / Course Goals					

<p>根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップを列挙できる。(1)C Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome <PICO (PECO)>を用いた問題の定式化ができる。(2)C 研究デザイン(観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)、介入研究(臨床研究、ランダム化比較試験)、システマティックレビュー、メタ分析(メタアナリシス))を概説できる。(2)B データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。(3)C 得られた情報の批判的吟味ができる。(7 ~)B 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。(4)C 人口統計(人口静態と人口動態)、疾病・障害の分類・統計(国際疾病分類International Classification of Diseases<ICD>)等を説明できる。(7 ~)B 平均寿命、健康寿命を説明できる。(7 ~)B 罹患率と発生割合の違いを説明できる。(7 ~)B 疫学とその応用(疫学の概念、疫学指標(リスク比、リスク差、オッズ比)とその比較(年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio <SMR>))、バイアス、交絡)を説明できる。(2)C 予防医学(一次、二次、三次予防)と健康保持増進(健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導)を概説できる。(5 ~)C</p>	
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class schedule	
講義および演習形式。	
授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class	
参考書を用いて講義前に1時間程度、講義後に1時間程度の参考書や医師国家試験の過去問題等による振り返りが望ましい。	
キーワード/Keywords	横断研究、縦断研究、症例対照研究、コホート研究、介入研究、ランダム化比較試験、メタアナリシス、システマティックレビュー、罹患率、有病率、死亡率、致命率、オッズ比、相対危険度、寄与危険度、年齢調整死亡率、標準化死亡比、平均寿命、健康寿命、疾病分類、静態統計、動態統計、診療ガイドライン、EBM、PICO、実務経験教員科目、DS科目(情報科目)、SDGs科目
履修上の注意/Notices	コアカリキュラムにおける疫学・予防医学および保健・医療・福祉と介護の制度に相当する内容であり、医師国家試験における出題ウエイトも高く、卒後臨床においても日々これらの領域の知識と技術、臨床場面での適用が求められるので、しっかりと勉強していただきたい。
教科書・参考書等/Textbooks	教科書 参考書 教科書・参考書に関するその他通信欄 (参考書) 1. 柳川洋・中村好一(編)公衆衛生マニュアル(南山堂) 2. 柳川洋・坂田清美(編)疫学マニュアル(南山堂) 3. 厚生統計協会(編)国民衛生の動向(厚生統計協会) 4. 厚生統計協会(編)国民福祉の動向(厚生統計協会)
成績評価の方法/Evaluation	筆記試験 (不合格者に対する再評価(再試験)は原則1回)
関連科目/Related course	社会医学実習
リンク先URL /URL of syllabus or other information	疫学健康政策学講座: http://www.med.u-toyama.ac.jp/healpro/index-j.html
備考/Notes	講義の順番は、教員の出張等の関係で変更になる可能性があります。

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) /Time (date and time)	主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's	学修方法と内容 /Methods and contents	備考 /Notes
第1回(12月23日3限)	疫学の原理と方法1(関根教授)	横断研究、縦断研究、症例対照研究、コホート研究、実務経験教員科目	
第2回(12月23日4限)	疫学の原理と方法2(関根教授)	介入研究、ランダム化比較試験、メタアナリシス、システマティックレビュー	
第3回(1月6日3限)	疫学指標(関根教授)	罹患率、有病率、死亡率、致命率、年齢調整死亡率、標準化死亡比、疾病分類、静態統計、動態統計	
第4回(1月6日4限)	リスク指標(関根教授)	オッズ比、相対危険度、寄与危険度	
第5回(1月20日3限)	バイアスと交絡(関根教授)	点推定、区間推定、バイアス、交絡因子、制限、マッチング、層化、多変量解析	
第6回(1月20日4限)	疫学と健康政策(立瀬助教)	生命表、厚生指標、疫学と健康政策	
第7回(1月27日3限)	スクリーニングと生活習慣病(山田助教)	感度、特異度、的中率、疑陽性、偽陰性、ROC、生活習慣病	
第8回(1月27日4限)	EBMと診療ガイドライン(山田助教)	EBM、診療ガイドライン、PICO	
筆記試験(2月13日2限)	担当教員		

授業追加情報 / Course add information

使用言語 / Language	日本語（一部、英語による教材や資料配布）
アクティブ・ラーニングの実施 / Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容 / Contents of Active learning	学生の質疑応答、演習、グループワーク
実務経験教員科目 / Work Experience teacher's subjects	
データサイエンス科目 / Data Science subjects	統計科目
他学部・他研究科等学生の履修可否 /	不可